**資料４**

**校内研修の企画・実践（例）**

学校でのアレルギー対応をより適切に安全に行うためには、緊急時に教職員が組織的に対応できるよう、全教職員がアレルギー疾患やアナフィラキシーの正しい知識を持ち、緊急時に備えて、校内全体で定期的な研修と訓練を継続して行う必要があります。

**１　校内研修の内容**

　○　校内研修・訓練の意義

　○　食物アレルギーの基本的な知識の理解

・食物アレルギーについて（定義・頻度・原因・症状・治療　等）

　　・アナフィラキシーショックについて（定義・頻度・原因・症状・治療　等）

　○　在籍児童生徒の状況（対応が必要な児童生徒の確認）

　　・必要品の保管場所の確認（学校生活管理指導表・エピペン・内服薬・AED　等）

　○　校内及び関係機関との連携体制の構築

　　・幼稚園、保育所、小学校、中学校等、異なる学校段階での連携の在り方

　　・該当する児童生徒の情報共有

　　・学校生活管理指導表や食物アレルギーを有する児童生徒に対する「取組プラン」について

　○　日常生活での配慮事項

　　・給食での対応

　　・給食以外での対応

　　・該当する児童生徒以外の児童生徒に対する説明及び協力の在り方

　○　緊急時の対応

　　・発症時の症状と対応の仕方（教職員の役割分担）

　　・緊急対応訓練（シミュレーション研修、消防機関や医療機関との連携）

　　・事故及びヒヤリ・ハット事例への対応

　　・「エピペン」の保持者と保管場所の確認

　　・「エピペン」の使い方（エピペントレーナーを使用しての実技研修）

　　・発症後の児童生徒の心のケアの方策

**２　校内研修の時期**

　○　年度始め（学校給食を実施している場合は給食開始まで）に、必ず全教職員の共通理解を図る。

　○　校外行事や宿泊を伴う行事の前など必要に応じて実施する。　等

**３　校内研修の企画・実施例**

※ 表中の記載について

**・参考ページ とは**

道ｐ●：「学校における食物アレルギー対応の進め方」（平成26年11月　北海道教育委員会）

国ｐ●：「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」（令和２年３月　公益財団法人日本校保健会）

**・【参考資料・動画】 とは**

「校内研修の企画・実践例」の最後のページを参照（関係ホームページを掲載）

○　職員会議などで実施①（研修時間約10分）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 目的・内容 | 参考ページ | 必要物品 |
| 計画・準備 | （目的）  アレルギー対応児童生徒に関する情報交換及び対応を確認する。  （準備）  ・対応が必要な児童生徒の一覧表  ・学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）  ・取組プラン　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など | 国p12・13  道ｐ39・40 | https://www.epipen.jp/teacher/  trainer.html |
| 実施 | （説明）  ・対応が必要な児童生徒についての情報共有  ・個々の「取組プラン」の内容を周知  ・緊急時の対応について確認  ・緊急時に必要品等の保管場所の確認  （質疑応答） |  | 一覧表  取組プラン |
| 評価 | （評価）  ・対応が必要な児童生徒の「取組プラン」の内容が理解できたか。  ・緊急時の対応について理解できたか。 |  |  |

○　職員会議などで実施②（研修時間約15分）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 目的・内容 | 参考ページ | 必要物品 |
| 計画・準備 | （目的）  緊急時には、全教職員が対応できるよう訓練する。  （準備）  ・アクションカード【参考資料・動画等３】  ・エピペントレーナー【参考資料・動画等６】  エピペントレーナーは、無料で借りることができます。  ・症状チェックシート  ・「緊急時の対応 学校におけるアレルギー疾患対応資料」  （文部科学省）【参考資料・動画等５】 | 国ｐ20-23  道ｐ29 |  |
| 実施 | （説明）  緊急性の判断について  （実技訓練）  ・教職員の役割分担  ・症状チェックシートの読み合わせ  ・エピペン使用、救急要請のタイミング確認  ・エピペンの使い方 | 道p28  道p29 |  |
| 評価 | （評価）  ・緊急性の判断と対応について理解できたか  ・エピペンを正しく使用できたか。 |  |  |

　○　校内研修会（研修時間約45分）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 内　　容 | 参　考  ページ | 必要物品 |
| 計画・準備 | （目的）  １　発症時の対応の手順を知る。  ２　場に応じた役割分担を行う。  ３　エピペンを使用することができる。  アクションカード  は、緊急時対応の役割ごとにカードが分かれています。かけつけた教員に渡していくことで、対応の漏れを防ぐことができます。  ４　AED（自動体外式除細動器）が正しく使用できる。  （準備）  ・アクションカード【参考資料・動画等３】  ・エピペントレーナー【参考資料・動画等６】  ・症状チェックシート  ・「学校におけるアレルギー疾患対応資料（ミニドラマ）」（文部科学省）【参考資料・動画等５】  ・研修後アンケート調査 | 道ｐ32 |  |
| 実施 | （説明）  ○　アレルギー対応の必要性  　・調布市富士見台小学校事故の検証結果報告書【参考資料・動画等７】  ○　アレルギー症状への対応の手順  　１　発見者が行うこと（留意事項と役割分担）  　２　緊急性の判断と対応（緊急性が高い症状と対応）  　３　緊急性が高いアレルギー症状への対応  　　・エピペンの使い方  　　・救急車要請  　４　心肺蘇生とAEDの手順  （シミュレーション）  症状チェックシートは、緊急性に応じて、左から赤信号、黄色信号、青信号の症状が記載されています。  赤信号の症状が１つでも当てはまれば、エピペン、救急車要請等の対応が必要となります。  アクションカードとともに、救急バックに入れておくとよいです。  　１　教室で発症した場合  　２　校外活動中に発症した場合  　　・居合わせた教職員による役割分担  　　・緊急性の判断と対応 | 道p26  道p27  道p28  国ｐ22・23  道p29・32  道p30  道p31 | ・アクションカード  ・症状チェックシート  ・エピペントレーナー |
| 評価 | （評価）  １　発症時の対応の手順を知ることができたか。  ２　場に応じた役割分担を行うことができたか。  ３　エピペンを正しく使用することができたか。  ４　AED（自動体外式除細動器）を正しく使用できたか。 |  | ・アンケート |

**【参考資料・動画等】**

１「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」

（令和２年３月 日本学校保健会）

　https://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook\_R010060/R010060.pdf

２「学校における食物アレルギー対応の進め方」

（平成26年11月　北海道教育委員会）

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/96220.html

３「アクションカードを使った研修」（日本学校保健会）

https://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook\_R010060/

action\_card/ac-partAll.pdf



４「緊急時の対応」（文部科学省・日本学校保健会）

https://www.mext.go.jp/component/a\_menu/education/

detail/\_\_icsFiles/afieldfile/2015/03/16/1355829\_04.pdf



５「アレルギー疾患対応資料（DVD）映像資料及び研修資料」

（文部科学省WEBページ）

https://www.mext.go.jp/a\_menu/kenko/hoken/1355828.htm



６「アナフィラキシー補助治療剤-アドレナリン自己注射薬エピペン

　EPIPEN 教職員・保育士・救急救命士のためのページ」（VIATRIS）

https://www.epipen.jp/teacher/index.html

７「調布市：富士見台小学校児童死亡事故の検証結果報告書」

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/fs/7/6/2/8/4/0/1/\_/%E3%82%A2%E3%83%AC%E3%83%AB%E3%82%AE%E3%83%BC(%E8%AA%BF%E5%B8%83%E5%B8%82%E4%BA%8B%E6%95%85).pdf